

技術の進歩に応える電気技術者

千葉県立清水高等学校 工業系科1年

木村 果愛

「技術の教科書は、これから絶対変わる」これが中学校の技術の授業で、私が一番印象に残っている言葉だ。聞いたときは、正直納得出来なかった。しかし両親から公衆電話を日常的に使っていたことや、パソコンが持ち運べない程の大きさがだったことを聞き、現実的に思えてきた。人々の生活が日々変化中、電気技術者として学ぶべきことが変わっていくことは、必至なのだと思う。

日々変わるといえるのは、工業の分野も同じだと思う。人々の生活が変化することで、求められる技術にも変化が出るだろう。そこに技術者も対応していかなければいけないと思う。世の中の需要が同じままだということはあり得ない。コロナ禍の中、車の売り上げは減少したが、ゲーム機は売り上げを伸ばしたように。人が求めるものは、簡単に変わる。より多くの人々の生活を良く出来るように、社会に合った開発を進める必要がある。そのことを心に留めて、人々に寄り添う技術者になるべきである。

身の回りで変化するのは他にもあるだろう。その中でこれから大きく影響を与えると思うのは、環境問題だ。実際、脱炭素・脱ガソリンの動きで、ものづくりの現場は変わろうとしている。人々の関心も強まり、よりその動きは大きくなるだろう。しかしこの問題は、簡単に解決出来ることではない。自然の面から見ても、便利さの面から見ても完璧なものなんて現れることはないのだろう。完璧ではないとしても、便利さばかり追い求めたもののせいで未来の人の生活を苦しめることは、技術者として防がなければならない。環境問題と言っても、様々なものがある。電気技術者としては再生可能エネルギーや、省エネルギーのための技術開発に関わるかもしれない。そのときに今のことだけでなく、その先を見つめて仕事をしていきたい。そうすることで、持続可能な社会に近づいていくと思う。

これから大きく変わっていく社会と技術だが、変わってはいけないものもあると思う。それは安全だ。いつどんな理由があろうとも安全は欠けてはならない。そのために重要なのは、一人一人が危険について意識することだ。身近にも、危険があるのに甘く見られているものがあり、事故が起きているのが現実だ。そこで技術者は設備を保全するだけでなく、正しい情報を周知する役目もあると思う。技術が進歩するにつれ、想像出来ない新たな危険も出てくるだろう。そのときに、技術という強みを持って戦えるようになりたい。

社会の変化に合わせて技術を向上させること、これからのことを考えて開発すること、安全を何より優先させること。この三つの柱は、技術者として欠かしてはいけないと思う。良い技術者になるには、多くのことを学ぶ必要がある。そして、様々な場で豊富な経験を積むことも重要だ。私はいつまでも学び続ける電気技術者でありたい。そして人々の助けとなるスペシャリストになりたい。